

## マッカーサーが仁徳天皇陵を発掘調査したという「都市伝説」を調査

メモ)鉄本 (2024.11.29)

来館者から「マッカーサーが仁徳天皇陵を発掘して、副葬品を持ち出した」という声掛けを偶に聞きます。この「都市伝説」が生まれた背景を調べてみました。**注意** 思い込みの強い方が時々います。聞き流すのが上策です。

### 1. ネット上で広がる情報

#### ① 某建設会社の U 社長のブログの例(要点のみ)

- ・ マッカーサー元帥の命令で、神の国の象徴である伊勢神宮を爆撃したが、神のバリアによって爆弾は弾かれ一発も当たらなかった。
- ・ 仁徳天皇陵も伊勢神宮と同様に爆撃されたが一発も当たらなかった。その後、マッカーサー元帥が仁徳天皇陵の中心部地下に入って調査したところ、旧約聖書に出てくる「アロンの杖」、モーゼが持ち歩いていた「マナの壺」のようなものが出土した。
- ・ イエスキリストも天照大神に教えを乞いに頻繁に日本に来ていたようです。

<コメント>全文を読むのもバカバカしいですが、当該社長は、上記のようなことを述べ、「日本はそういう国ですから、日本人はもっと誇りをもちましょう。」ということを行っています。自分の国に誇りを持つことは大切ですが、その拠り所を「神の国」とするのは、何とも薄っぺらなことです。日本の自然、文化、歴史、民俗に深く接し、その「細やかさ」、「たおやかさ」、「こころ」を感じれば自ずから誇りが生まれてきます。

#### ② YHOO！知恵袋の QA の例(抜粋)

- ・ 質問者：「アメリカのメトロポリタン博物館（ボストンの間違いですが、元の文のまま）に仁徳天皇陵の鏡があるということは、誰が取り出したのでしょうか。」
- ・ ベストアンサー：「伊勢湾台風の時（中略）古墳の一部が崩れて、石室の一部が現われ、学者団が調査と修復に向かいました。石室に入ると、既に盗掘されていました。近所の者で、盗掘した物を所持していた者もいて、（中略）大阪府の知事をしていて、男爵の爵位を持つ男がこの石室を暴いています。この知事は、副葬品から墓の主が日本人ではないと判り、安心して盗掘したといわれる。日本の考古学者が、この際に仁徳天皇陵から持ち出した物だろうという、環頭太刀など数点がアメリカの博物館にあるようです。」

<コメント>詐欺師は10%の事実に、90%のウソを交えて相手を信じ込ませるそうですが、同じ論法になっています。伊勢湾台風、県令税所篤、環頭太刀などの単語は歴史的事実に結び付く単語ですが、時間軸を曲げて嘘の文章を組み立てています。質問者はこの回答をベストアンサーにしています。

#### ③ 教えて!GOO の QA の例(抜粋)

- ・ 質問者：「仁徳天皇陵をマッカーサー元帥が掘り起こしを途中までしかやらなかったそうですが、天皇の秘密を知ったそうですが（後略）」
- ・ ベストアンサー：「(前略) 天皇家が古代イスラエルの十支族の末裔で、古代イスラエルのアークが、ここにあると思われていました。(中略) ボストンで”展示”されているのはほんの一部で、重要なアークは美術館で部外秘にされています。これが、マッカーサーが天皇制を継続させた理由でもあります。(後略)」

<コメント> 東北大学文学部教授だった田中英道(西洋美術史専門)という人が、千葉県・芝山古墳から出土した人物埴輪を見て、イスラエル10氏族の1つが日本にやって来たと証拠とし、渡来ユダヤ人

が日本に同化する過程で、日本に文化と技術をもたらしたと主張しています。著書は荒唐無稽な話の羅列です。それらを列挙すると、ユダヤ人氏族は新羅を建国、須佐之男命・蘇我氏・秦氏はユダヤ系である、広隆寺に「モーゼの十戒」の痕跡がある、ミカド(帝)はヘブライ語である、松尾芭蕉はユダヤ人の感覚を受け継ぎ俳聖となった、縄文・出雲文化、能、御柱祭はユダヤ人によってなされた等々。

田中英道氏は、YouTubeでも前述のような主張をしており、これに影響を受けた人が多いようです。

< 田中英道氏の主な著書 > 『日本にやって来たユダヤ人の古代史』 文芸社

『ユダヤ人埴輪があった! 日本史を変える 30 の新発見』 育鵬社

## 2. 昭和20年頃の大阪・堺での米進駐軍の動き

### (1) 米軍の大阪・堺への進駐経過

- ① 昭和20年(1945)8月末、米軍が日本に上陸
- ② 同年9月末頃、和歌浦に上陸した完全装備部隊は国道26号線を通って、それぞれの駐屯地に向かう
- ③ 同年10月6日に先遣隊が堺・金岡の旧陸軍の兵舎に入舎、以後、旧日本軍兵舎・病院を接收
- ④ 同年11月26日夜、金岡キャンプに出火があり、堺消防署が消火に尽力 感謝状が米軍連隊長から届く
- ⑤ 同年12月10日、金岡の占領軍幹部数名を浜寺の新東洋に招待し、河盛市長以下幹部が歓待

### (2) 米軍の接收施設

- ① 大阪市内中心部(中之島周辺)の占領軍施設となった建物
  - ・新大阪ホテル、朝日ビル、石原産業ビル、住友ビル、安田ビル、日本生命ビル、ガスビルなど19ヶ所
  - ・大阪市内全体では、個人宅も含め30施設が接收された。
- ② 堺市内での接收施設
  - ・占領軍家族用住宅地区： 浜寺ハウス、刀根山ハウス
  - ・上野芝向ヶ丘町で接收された個人宅8邸(米軍上級将校用として使用された)
- ③ その他の接收場所
  - ・金岡兵舎、上野芝給水施設、信太山小銃射撃場、信太山演習場、キャンプ・サカイ練兵場

### (3) 地元市民が見た仁徳天皇陵での米兵の振る舞い

その「聖域」に、猟銃がぶっ放された。近くに駐留した米軍兵士たちにとって、野鳥のむらがる御陵内は絶好の狩猟場だったのだ。関係者も目をつむるほかなかった。こどもたちは、水のきれいな内堀を「仁徳プール」と呼んで泳ぎ、夜の堤防はアベックの巣となった。

『大阪・いまとむかし』 朝日新聞社会部／編 中外書房 1967 より抜粋

### (4) 接收不動産に関する資料

- ・『G. H. Q東京占領地図』 福島鏗郎編著 1987刊行
- ・『占領軍関係行政文書』 京都府立総合資料館所蔵
- ・「CITY MAP OF TOKYO (Jan 1949)」 国立国会図書館所蔵
- ・『大阪市戦災復興誌』、『新修大阪市史』、『占領下の大阪 一大阪連絡調整事務局『執務月報一』

## 3. ボストン美術館の「伝仁徳天皇陵出土品」 宮内庁書陵部紀要第62号 徳田誠志 から要約

### (1) 経緯

① 出土品の最初の紹介者 平林悦治 昭和13年(1938)に論文発表

<論文要旨>

- ・明治25年(1892)に「百舌鳥村の百姓」が堺市南部にある神社の神官のところへ遺物を買ってくれと持ち込んできた。最も重要な出土地については、「百姓」は何も発言していない。
- ・出土地を「大仙陵(=仁徳天皇陵)」であるとしたのは、神社の神官の一方的な思い込みである。
- ・明治30年(1897)、神官は現京都国立博物館に持ち込むも、出土地不明のため門前払いだった。
- ・その後、神官は明治30年代中頃、1500円という金額で京都の古物所である「令古堂」に売却した。

② 明治5年の仁徳陵前方部開口との結び付け論争

- ・梅原論文：梅原末治氏は、昭和29年(1954)に当該遺物を実見しており、また、ボストン博物館に勤務し当該遺物についてよく知っていた富田幸次郎氏とも知己である。福原論文では、最終的に出土地を特定することは不可としている。
- ・森論文：森浩一氏は、当時の県令である税所篤が計画的に前方部を発掘し、遺物を持ち出し秘匿していたという仮説を立てている。
- ・坪井論文：奈良文化財研究所の坪井清足氏は遺物と仁徳天皇陵の築造時期が異なるとし、税所篤による持ち出しを否定。
- ・堀田論文：刀剣鑑定専門家の堀田氏は、坪井氏と共にボストンに出向き、出土した環頭太刀は仁徳天皇陵出土であっても矛盾はないとしている。

(2) ボストン美術館所蔵記録及び資料の調査結果(平成20年度報告)

① ボストン美術館の登録台帳・・・明治41年(1908)の遺物受入れ記録

書類は、1907年12月26日付けで、岡倉天心から美術館館長宛てに出されている。当該書類に以下のような購入リストが添付されている。

List	Purchases	
1	Bronze bell of Hang Dynasty	Yen 1050
2	Prehistoric bronze bell(Japanese)	500
3	Bronzes from an ancient grave, including Swordhilt, mirror, and several bells	1350
4	Bronze bell	100

(翻訳)

- 1 = 王家の青銅製釣鐘
- 2 = 先史時代の青銅製鐘
- 3 = 古代墓出土の青銅品  
(刀柄、鏡、鐘数点)
- 4 = 青銅製鐘

1は中国漢代の青銅製鐘、2は銅鐸、3は環頭太刀、銅鏡、馬鐸、4は三環鈴に該当すると思われる。出土場所については、3のみ古代の墓(古墳のことか)という記述があるが、他は記述がなく同一場所から出土したものとは読みとれない。

② ボストン美術館に関わる岡倉天心の行動

岡倉天心は明治37年から明治43年までの間、ボストン美術館の美術専門家として日米を4回行き来し、美術品を収集している。当該遺物は天心が3回目の渡米前(明治39年)に京都の「令古堂」で購入したものと推測される。

③ それぞれの資料の年代観

- a. 三環鈴：杉本分類のⅡBc類(無基式+鈴の均等取付+鈴が大)及び高崎分類の直径高さ比率が0.966という結果から、6世紀代の最新型式のものである可能性が高い。

- b.馬鐸2点：小野山・瀧瀬氏による型式分類では、「4区斜線文系」に該当し、6世紀中葉から後葉のものと思われる。
- c.鏡：獸帯鏡に分類され、同型鏡群に含められ、奈良県今井1号墳出土鏡に近い。鏡背文様は、鈕には乳帯文が伴い、その外側は櫛歯文＋平頂圈帯＋銘文＋平頂圈文＋櫛歯文となる。年代は5世紀後半と推定できる。
- d.環頭太刀：柄頭と柄縁金具の取り付け方、金具上下の綾杉文、「禽形」文様などの要素から、滋賀県鴨稻荷山古墳、及び、武寧王陵出土の環頭太刀に近く、実年代観は6世紀第1四半期とすることができる。

### (3)まとめ

前方部石槨に副葬されていた金銅製横矧鋌留短甲は、須恵器型式編年のTK47型式段階のものであり、概ね5世紀代までのものである。対して、ボストン美術館所蔵品は6世紀第1四半期のものであり、両者に時間差があることから、これを前方部石槨からの出土物とすることはできない。尤も、時間差のある遺物が共伴される例はあるが、時間差が少ない例に留まる。

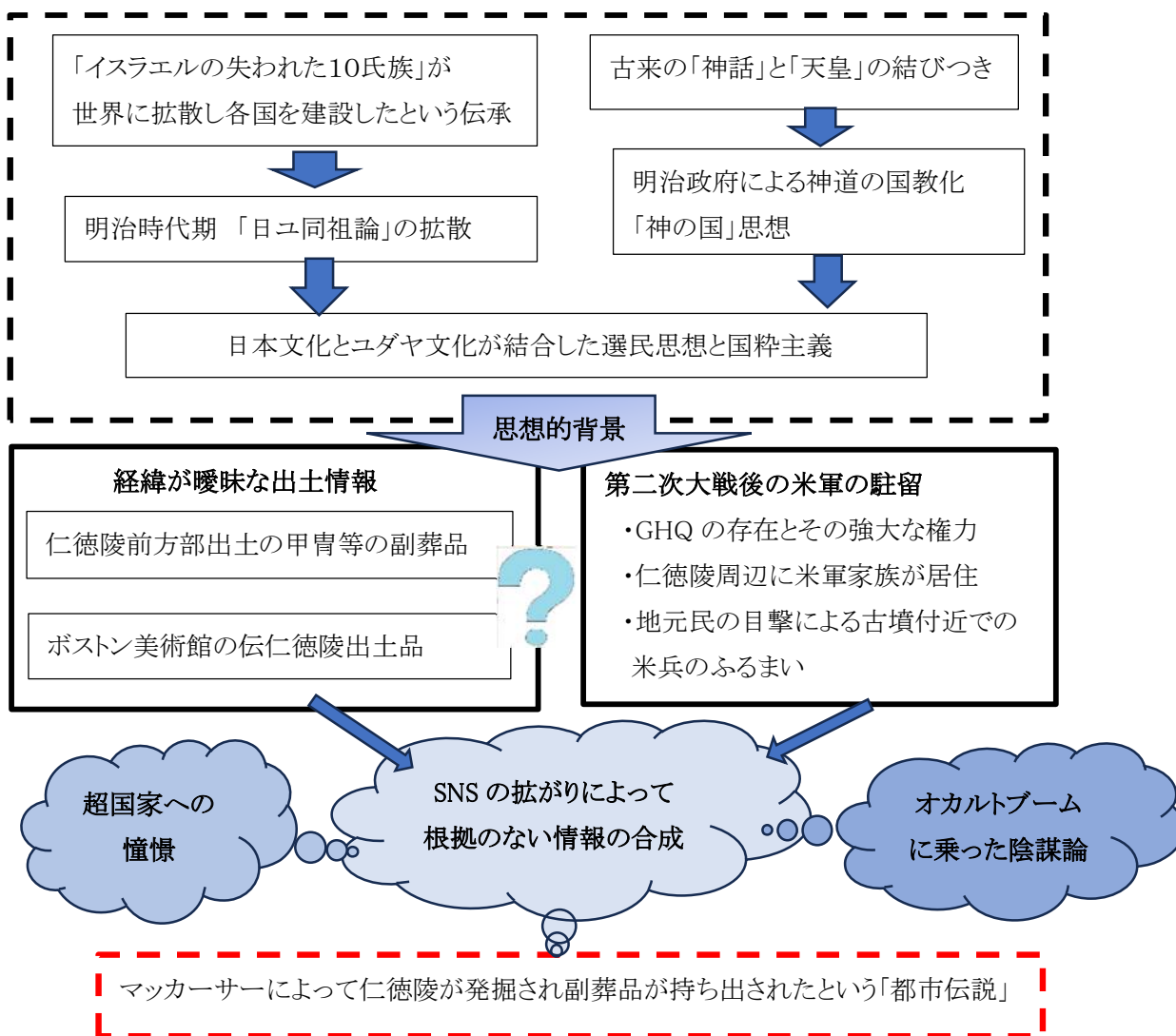
## 4. ファクト・チェックと都市伝説が生まれた背景

### (1)ファクト・チェック

- ①「仁徳天皇陵も伊勢神宮と同様に爆撃されたが一発も当たらなかった。」  
 ☞ 間違い \*昭和20年7月12日大阪府警察局の報告（7月10日の空襲）  
 300発以上の焼夷弾を被弾、見張り所、船小屋などの施設が焼失、墳丘の樹木燃焼  
 \*平成30年度の第1堤第2-3トレンチにて、不発弾2個(6ポンド焼夷弾)を発見
- ②「マッカーサー元帥が仁徳天皇陵の中心部地下に入って調査した」  
 ☞ 間違い \*国立国会図書館憲政資料室所蔵 マッカーサー記念館文書にはそういう記録はない。
- ③「伊勢湾台風の時（中略）古墳の一部が崩れて云々」  
 ☞ 間違い \*昭和9年の室戸台風では堺の旧市街で甚大な被害があったが、古墳が崩れた被害はない。内閣府防災情報によれば、伊勢湾台風(1959年)は、東海地方に甚大な被害をもたらしたが、大阪では人的被害1名という報告のみである。さらに、2018年の台風21号は大阪に大きな被害をもたらし、古墳内で倒木があったが、墳丘が壊れたという事実はない。明治5年の前方部開口の出来事が、昭和の出来事に置き換わっている。
- ④「大阪府の知事をしていた、男爵の爵位を持つ男云々」  
 ☞ 間違い \*税所篤のことを言っているのであろう。税所篤は堺県の県令であって大阪府知事ではない。又、男爵ではなく子爵である。
- ⑤「天皇家が古代イスラエルの十支族の末裔云々」  
 ☞ 間違い \*この説の裏には「日ユ同祖論」がある。ハプログループ(DNA配列)を調べると、日本人は、i 中国中部、ii 太平洋、iii シベリアのグループに近く、一方、ユダヤ人は地中海地方のグループであり、両者は遠く離れている。また、言語についても両者には隔りがある。日本語のルーツは広義では古極東アジア語であり、狭義ではビルマ系言語を主力としたクレオール語が祖型である。一方、ユダヤ人のヘブライ語はカナン地方で使われたセム語が祖型である。「日ユ同祖論」は根拠もなく何でもユダヤに結び付ける説である。

- ⑥ 「ボストンで”展示”されているのはほんの一部で、重要なアークは美術館で部外秘にされています。」
- ☞ 間違い \* 岡倉天心の購入記録とボストン美術館の受入れ記録を確認すればわかる通り、記録に記載されているものがすべてである。“アーク”とは石棺のことを言っているのだろうか。
- ⑦ 「仁徳陵の前方後円墳の形は、“ユダヤの壺”に起源がある。上下逆に観ると「壺の形」をしています。ちゃんと、取手もあります。」
- ☞ 間違い \* 弥生時代の円形周溝墓が、墳丘墓→纏向式前方後円墳→箸墓古墳と変遷し形を観察すれば周溝墓の通路(土橋)部が拡大していき前方後円墳となったことが判る。

## (2) 都市伝説が生まれた背景



## 【参考文献】

- ・論文「占領期における大阪の接収不動産についての調査」 九州大学大学院 松本裕行 2016
- ・『大阪・いとむかし』 朝日新聞社会部 高尾清 中外書房
- ・宮内庁書陵部紀要第71号 「仁徳天皇 百舌鳥耳原中陵第1 堤における遺構・遺物確認のための事前調査」
- ・大阪市史続編第3巻 ・『日本民族の誕生』 安本美典 勉誠出版 2013
- ・『人類の起源』 篠田謙一 中央公論新社 2022 ・『日本語の起源を探る』 安本美典 PHP研究所 1985